

「ことばと教育-わたしも言いたい」第3回発表会 発表要旨

山形県立天童高等学校 教諭 本間正史

第2回発表会で、「国語」という教科が共通一次試験、そしてセンター試験によっておかしな状況になっていることを述べました。現状の国語教育は、生徒にとっても教師にとっても、何を学び何を教えているのか、何のために勉強しているのかわからない状態になっているのです。

しかし国語のセンター試験の内容が大きく変わろうとしています。報道されている通り、記述式が導入されます。今年、モデル問題も公表され、その変更がどのようなものであるのかが少しずつ見えてきています。この改革が「国語」教育をどのような影響を与えるかについて私見を述べたいと思います。

そしてそれが、英語教育や日本語教育との連携にどう結び付けていくべきかについても私見を述べさせていただければと思います。